

# 『多職種で育む！新時代の地域包括ケアシステムとは？』



～病院・施設も在宅も、目指しているものは何か？～



## 1. 目的

医療・介護等の職能団体と行政で構成する本ネットワークの強みを最大限に生かし、**多職種が一堂に会して地域包括ケアシステムの目的や、連携をすることの重要性と必要性を共通理解とすることで、医療・介護に携わるすべての専門職による『まとまる意識の醸成』と『更なる連携強化』をはかります。**

## 2. 日時

令和7年3月15日(土) 14時00分～17時00分／〔受付〕13時00分～

## 3. 開催方法

ハイブリッド（講師は会場へお越し予定です。ぜひ会場にてご参加ください）  
〈会場〉サテライトキャンパスひろしま 501・502 大講義室  
（広島県広島市中区大手町1丁目5-3）

## 4. 定員

〈会場〉100人 〈オンライン〉300人

## 5. 参加対象

医療・介護に携わるすべての専門職等



## 6. 内容

【講義】 14:00～16:00

テーマ：『地域包括ケアシステムを改めて問い直す ～どうなれば成功といえるのか？～』

講師：**三菱UFJリサーチ&コンサルティング**

**政策研究事業本部 社会政策部 主席研究員 岩名 礼介 氏**

（講師は長年にわたって広島県における地域包括ケアシステムの構築のため各市町行政の支援を行っておられます）



《岩名氏の研修等の参加者の感想》

- ・施設で働く私のモヤモヤが一気に吹き飛びました。わかりやすい！
- ・多職種連携の重要性を非常にわかりやすく教えてくださいます！
- ・医療現場で働き始めた頃に岩名さんの講演を聞き、地域包括ケアシステムにおける自分の役割が理解できました。初めて聞く方には特におススメです。



\*講師プロフィールはQRコードからご覧ください↑

【グループワーク】 16:00～17:00

テーマ：『これからの地域包括ケアシステムで自身が果たす役割とは？』

グループのファシリテーターを中心に、多職種で講義の感想・気づき等の共有・意見交換を行い、地域包括ケアシステムにおける各職種が果たす役割や多職種連携について共に考えます。

進行：**広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 研修委員 木下 健一 氏**  
（広島県済生会 坂町地域包括支援センター長）

助言者：**三菱UFJリサーチ&コンサルティング**

**政策研究事業本部 社会政策部 主席研究員 岩名 礼介 氏**

## 7. 参加費

無 料



## 8. 参加申込

### (1) 申込方法

申込み期間内に、URLもしくはQRコードから、専用フォームにて申し込んでください。

申込みを受付すると受付完了メールが届くので、必ずご確認ください。

【申込URL】[https://req.qubo.jp/hirokensha\\_dantai/form/zhtwwGWk](https://req.qubo.jp/hirokensha_dantai/form/zhtwwGWk)

### (2) 申込期間

令和7年1月16日(木)～令和7年2月28日(金)

### 《主催：自立支援多職種ネットワーク推進会議》

広島県、広島市、(一社)広島県医師会、(一社)広島県歯科医師会、  
(公社)広島県薬剤師会(公社)広島県看護協会、(公社)広島県理学療法士会、  
(一社)広島県作業療法士会(一社)広島県言語聴覚士会、(公社)広島県社会福祉士会、  
(一社)広島県介護福祉士会、(一社)広島県歯科衛生士会、(公社)広島県栄養士会、  
(社福)広島県社会福祉協議会、広島県老人保健施設協議会、  
広島県訪問看護ステーション協議会、(一社)広島県介護支援専門員協会、  
広島県地域包括ケア推進センター、広島県老人福祉施設連盟  
(公社)広島市老人福祉施設連盟、広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会

「自立支援多職種ネットワーク推進会議」は、広島県民一人ひとりが生涯にわたって、自分らしく健やかに生活を継続できるように、専門職が“自立”に関する共通の認識を確認しあい、連携して支援することを目的として、21の専門団体・機関等で構成されています。



### 【申込み先及び研修内容についての問い合わせ先】

広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局  
(社福)広島県社会福祉協議会 法人振興課(担当:中田)  
〒732-0816広島市南区比治山本町12-2  
TEL(082)254-3416 FAX(082)256-2228